

平成 24 年 3 月 26 日

各 位

会社名 株式会社 新生銀行
代表者名 代表取締役社長 当麻 茂樹
(コード番号 : 8303 東証第一部)

新生銀行パワースmart住宅ローン申込書が UCDA 認証を取得
～ 多様な色覚のお客さまにも見やすく、わかりやすく、伝わりやすいデザインが評価～

当行は、個人のお客さまにご提供している「パワースmart住宅ローン」の申込書について、わかりやすさの観点からのデザインの改訂を行い、一般社団法人ユニバーサル コミュニケーション デザイン協会(本社:東京都中央区、以下、「UCDA」)の認証を取得しました。本認証の取得は、銀行窓口帳票の取得としては、当行が2例目となります。(2012年3月現在)

UCDAは、企業や団体が制作する申込書や説明書などの書面がお客さまにとって「見やすく、わかりやすく、伝わりやすい」デザインになっているかを認証する国内唯一の第三者機関です。書面の「わかりやすさ」については、9項目(情報量、タスク、テキスト(分意)、レイアウト、タイポグラフィ(文字)、色彩設計、マーク・図表、記入(入力)欄、使用上の問題)の基準を設けており、これら9項目を満たしているデザインに「UCDA認証(伝わるデザイン)」を付与しています。

当行では、「新生銀行パワースmart住宅ローン申込書 兼 新生総合口座パワーフレックス申込書」について、従来のレイアウトや記入欄の幅・位置に調整を加えるとともに、多様な色覚のお客さまへの配慮として書面の背景色を緑からクリーム色および青色へと変更する色彩設計の見直しを行いました。また、高齢のお客さまへの配慮として、フォントサイズが小さくても読みやすいUCDAフォントを採用し、お客さまにとって「見やすく、わかりやすく、伝わりやすい」デザインへと改善いたしました。これらの点が評価され、2012年2月に「UCDA認証(伝わるデザイン)」を取得、同月下旬から改訂した申込書の利用を開始しております。また、3月13日に認証授与式が行われました。(申込書の改訂の概要などについては、別紙をご参照ください。)

当行では、2007年3月より「消費者広告チェック制度」を構築し、インターネット調査やグループインタビューを通じて当行の広告の見やすさ、分かりやすさをお客さまに評価いただくなどの取り組みを行っております。今般の認証取得を機に、広告に加え申込書などの手続書類においても、記載内容およびデザインの継続的な見直しや改善を行ない、引き続き、より多くのお客さまに対する、わかりやすい、正確な情報伝達に努めてまいります。

以 上

(別添)

「新生銀行パワースmart住宅ローン申込書 兼 新生総合口座パワーフレックス申込書」のデザイン改訂

■ 改定前

＜主な改善点＞

- ・ご記載いただく情報の整理および記載順序の見直し
- ・レイアウトや記入欄の幅・位置を調整
- ・書面の背景色を緑からクリーム色および青色へと変更し、多様な色覚のお客さまにとって見やすい書面に改善
- ・フォントサイズが小さくなくても読みやすい UCDA フォントを採用し、高齢のお客さまにとって読みやすい書面に改善

■ 改定後